

令和4年度における地域包括支援センター等の評価結果等を踏まえた取組状況について

令和4年度の地域包括支援センター（以下「センター」という。）等の評価点が低かった項目やヒアリング等におけるセンターからの要望を踏まえて、次のような取組を行った。

1 区レベルの取組

(1) 各区において改善に向けて取り組む評価項目に関する改善策等の実施

令和5年9月から10月に開催した各区地域包括支援センター運営協議会において、区内の半数以上のセンターが「2点」以下であった評価項目に対する、改善策等について検討した。別紙1のとおり、区地域支えあい課が定期的に指導を行うなど、改善に向けて取組を実施している。

(2) 地域包括支援センターの広報

各区地域支えあい課において、次の取組を実施した。

- ・ 本市広報紙への掲載
- ・ 区内の防災イベントや地域の祭り等に参画し、センターの役割についてのパネル展示やチラシの配布



2 市レベルの取組

(1) 地域包括支援センターの広報

別紙2のとおり。

(2) センター長研修会、センター職員研修会の開催

センター職員については、人事異動などに伴い経験年数が浅い職員がいることや、評価基準や制度の変更などを踏まえたセンター職員研修会を年2回行った。

センター長については、前年度の研修会後のアンケート結果や、センターの評価に係るヒアリング等を通して把握した課題から、他のセンター長とのネットワークを深めて不安や悩みを共有し、精神的な負担感を軽減して今後の組織マネジメントを行っていくことができるよう、ポジティブマネジメントをテーマに研修会を開催した。

区 分	日 時	開催方法	テーマ	参加者数
センター 職員研修会 (1回目)	5月16日(火) 14:00～16:30	オンライン	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の 理解と環境整備の意義について～事業の効果 的な運営を行うPDCAサイクル～ (講師:一般社団法人広島県介護支援専門員協会常任理事 久保田 竜二 氏)	142名
センター長 研修会	10月23日(月) 14:00～17:00	対面	ポジティブマネジメントで組織の強みを活かす (講師:学校法人日本赤十字学園日本赤十字広島看護大学副学長 ヒューマンケアリングセンター長 村田 由香 氏)	63名
センター 職員研修会 (2回目)	11月20日(月) 14:00～16:00	オンライン	高齢者の権利擁護及び弁護士派遣に関する 制度について (講師:広島弁護士会 法テラス広島法律事務所 弁護士 工藤 舞子 氏)	116名

(3) 地域包括支援センター活動発表会の開催

センター等における先駆的な活動状況等を発表し、共有するとともに、学識経験者からの助言を受けることで、業務の質向上や活動の活性化を図ることを目的として開催した。

今年度から、センター等の活動を広く共有する観点から、各区地域包括支援センター運営協議会委員にも傍聴の案内を行った。

日 時	開催方法	発表者等	参加者・傍聴者数※
1月24日(水) 14:00～17:00	オンライン	・ センター職員 5名 ・ 認知症地域支援推進員 1名 ・ 生活支援コーディネーター（区社会福祉協議会） 1名 (アドバイザー：安田女子大学 永井教授)	【参加者】 187 名 【傍聴者】 65 名 (申込者数)

※ 参加者 ・ センター職員、認知症地域支援推進員、センター設置法人関係者、生活支援コーディネーター（区社会福祉協議会）、各区地域支えあい課職員

傍聴者 ・ 広島市地域包括支援センター運営協議会委員
・ 各区地域包括支援センター運営協議会委員
・ 在宅介護指導員、相談支援包括化推進員、障害者基幹相談支援センター職員等、センター等と連携して地域住民の支援を行う相談員
・ 発表内容に関わる地域団体等の関係者